

V. 船員職業に関する意識調査(第1年度)

—— 船員教育機関在校生に対する意識調査 ——

目 次

1 商船科系教育機関在校生の船員職業観 について	173
A はじめに	173
B 対象者の属性	173
C 職業選択について	175
D 将来の職業生活について	176
E ま と め	181
2 水産科系教育機関在校生の船員職業観 について	181
A 調査の目的と方法	181
B 対象者の属性など	182
C 船員職業評価	184
D 職業選択について	188
E 将来の職業生活について	191
F ま と め	195
1 商船科系教育機関在校生の船員職 業観について	

A はじめに

日本の海運業が活力ある産業であり続けるためには、若年労働力の絶えざる流入が不可欠である。しかし、若年労働力の人口の減少と一般国民の職業意識の変化にともない、若年船員の確保は必ずしも容易でなくなっている。そこで、「船員職業に関する意識調査」を、平成2年度より2年間にわたって実施することとした。

ここで紹介するのは、平成2年10月に実施

した商船科系教育機関(商船大学、商船高専、海員学校)に在学中の学生・生徒が、船員職業について、どのような職業意識や定着意識を持っているかについての調査結果の一部である。平成3年度は、中学と高校の生徒とその親に対して調査を実施する。

調査対象は、商船科系教育機関の商船学コースに在学する学生・生徒、商船大学(2校)1,137名、商船高専(5校)1,063名、海員学校(8校)641名の合計2,841名であった。調査票の回収数は、商船大学493名(43.4%)、商船高専1,013名(95.3%)、海員学校574名(89.5%)であった。

商船大学の回収率はきわめて悪いが、それは学生の自主的な協力を委ねたことによる。また、その回答者は船員職業に好意的な学生が多数含まれたとみられる。

なお、分析に当たっては、現在、船員を志望する学生・生徒とそうでない学生・生徒を比較する。

B 対象者の属性

① 父兄の職業について、その上位3位をとり上げると、商船大学は民間企業(管理職)21.8%、民間企業(非管理職)19.9%、会社・団体役員12.5%、商船高専は会社・団体役員18.9%、民間企業(非管理職)14.7%、民間企業(管理職)11.0%、海員学校は会社・団体役員18.1%、民間企業(非管理職)12.1%、農林漁業11.2%となっている。

それが船員職業であるのは、商船大学2.7%、商船高専14.0%、海員学校18.1%である。船員志望者は非志望者に比べ、父兄の職業が船員職業である場合が多い。

② 身近に船員職業である人あるいはあった人がいたとする比率は、商船大学41.6%、商船高専65.8%、海員学校62.0%にも及んでいる。船員志望者は非志望者に比べ、それがいる(いた)の比率はきわめて高い。

このように、最近、船員職業の世代継承者や、身近に船員職業がいるものが商船科系教育機関に入学しており、しかもそうした学生・生徒ほど船員志望が強いことを知りうる。

③ 商船科系教育機関を志望した理由をみると、商船大学では「仕事」28.7%、「学力」27.7%、商船高専では「仕事」48.3%、「学力」15.8%、海員学校では「仕事」50.7%、「他に適当な学校なし」16.0%となっている。船員志望者は「仕事」、非志望者し「学力」が、他に比べてかなり高い。

④ その志望にあたって、両親がどういった態度であったかをみると、まず入学についての賛成率は、商船大学は62.5%、商船高専66.1%、海員学校76.3%である。次に、船員になることについては、それぞれ26.8%、50.3%、65.8%となっている。船員になること

表1 船員関係者の有無

単位：%、人

船員関係者	商船大学			商船高専			海員学校		
	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計
祖父	6.9	5.5	6.1	19.5	11.8	16.2	18.3	7.9	15.5
父	10.6	2.6	6.1	22.7	16.7	20.1	26.4	9.9	21.9
兄弟	0.9	0.7	0.8	4.3	3.5	4.0	5.3	6.6	5.6
親戚	18.8	10.6	14.3	40.1	30.8	36.1	42.2	17.8	35.7
友人	24.3	16.4	19.9	37.0	28.2	33.2	38.7	23.0	34.5
隣人	17.0	12.0	14.2	36.5	29.3	33.5	36.6	18.4	31.8
いずれか	49.8	35.2	41.6	70.2	59.9	65.8	67.6	46.7	62.0
実数	204	286	490	656	341	997	349	214	563

註：船員関係者“あり”の比率のみを表示した

表2 学校の志望理由

単位：%、人

志望理由	商船大学			商船高専			海員学校		
	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計
仕事	53.7	9.1	28.7	66.0	24.4	48.3	62.9	16.7	50.7
寮生活	0.5	3.3	2.0	2.1	7.0	4.2	3.3	12.0	5.6
練習船	17.1	15.3	16.1	15.1	16.9	15.8	2.4	3.3	2.6
学力	14.8	37.8	27.7	4.0	9.6	6.4	7.2	12.7	8.6
他になし	2.8	6.2	4.7	4.9	20.8	11.7	9.8	33.3	16.0
受験失敗	4.6	18.5	12.4	0.7	4.2	2.2	4.5	10.7	6.2
その他	6.5	9.8	8.4	7.3	17.1	11.5	9.8	11.3	10.2
実数	216	275	491	577	427	1,004	418	150	568

について、船員志望者は非志望者に比べ、両親の賛成率はかなり高い。

⑤ 学校の志望順位が第1位となっている比率は、商船大学46.8%、商船高専79.7%、海員学校65.4%である。船員志望者は非志望者に比べ、第1位とする比率がかなり高い。

このように商船高専や海員学校の生徒にあっては、船員職業を念頭において、学校を志望し、またそのことについて、一応、親の支援をえて入学しているが、それに比べ、商船大学の学生にあっては、学力に見合った学校として志望している傾向が強く、したがって船員職業とはかかわりなく入学しているようである。

⑥ 教科、性格、行動について自己評価させたが、船員志望者は非志望者に比べ、それらを肯定的に評価し、なかでも自己の将来に

ついて自信を持っている。

⑦ 学力、体力、性格などに関する船員適性についても、その自己評価は船員志望者は非志望者に比べ、肯定的に評価している。

このように、船員志望者は非志望者に比べ、いろいろな側面について前向きな状態にある。

C 船員職業評価

① 海運業に対する知識について、さまざまな項目について回答を求めたところ、商船大学や商船高専の正解率が高いが、海員学校はそれらよりやや低いという結果となったが、全体としての正解率はそれなりに高い。そうしたなかにおいて、船員志望者は非志望者に比べ、また学年が上がるほど、正解率が高まる。

いくつかの知識のうち、外航船には混乗のことありについての正解率は90%に及んでい

表3 進学および船員職業に対する両親の態度

単位：%、人

両親の態度		商船大学			商船高専			海員学校		
		船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計
学 校	賛成	68.7	62.2	65.1	71.1	65.9	68.9	74.7	63.8	71.8
	反対	7.5	5.2	6.2	8.4	4.8	6.9	6.9	6.7	6.9
	どちらでも	23.8	32.6	28.7	20.5	29.3	24.3	18.4	29.5	21.4
	実数	214	270	484	560	416	976	288	105	393
校	賛成	63.0	56.2	59.2	65.3	60.7	63.4	72.7	59.6	69.3
	反対	8.3	6.6	7.3	13.4	8.4	11.3	6.8	7.7	7.1
	どちらでも	28.7	37.2	33.5	21.3	30.8	25.3	20.5	32.7	23.7
	実数	216	274	490	574	428	1,002	293	104	397
船	賛成	51.6	15.8	31.8	66.8	37.1	54.1	75.3	48.6	68.2
	反対	13.1	16.2	14.9	6.6	10.6	8.3	6.9	6.7	6.9
	どちらでも	35.2	67.9	53.3	26.6	52.3	37.6	17.7	44.8	24.9
	実数	213	265	478	557	415	972	288	105	393
員	賛成	37.2	9.6	21.9	57.9	31.6	46.6	70.5	43.3	63.4
	反対	23.7	21.9	22.7	10.5	11.5	10.9	5.8	8.7	6.6
	どちらでも	39.1	68.5	55.5	31.6	56.9	42.4	23.6	48.1	30.1
	実数	215	270	485	572	427	999	292	104	396

註：海員学校は、清水・館山の両校を除いた結果である

る。他方、外航船員の下船休暇についての正解率は70%にとどまる。

② 海運業に対する見解に関しても、いくつかの質問を用意したが、そのうち、たとえば船員の雇用は安定しているとみる比率は、商船大学12.8%、商船高専29.1%、海員学校44.6%にとどまった。今後の就職先を、そのようにみていることは重要である。

③ 船員職業イメージについて、詳しく調査したが、大まかな結果としては、商船大学では厳しく、地味で、窮屈な反面、強く、活発で、温かい、商船高専では複雑で、厳しく、堅い反面、強く、高く、活発、海員学校では厳しく、地味で、複雑な反面、強く、活発で、高いととらえられている。なお、船員志望者は非志望者に比べ、イメージを肯定的に評価している。

D 職業選択について

① 中学時代において、商船船員を希望職業としたものは、商船大学13.4%、商船高専36.5%、海員学校31.4%となっている。高校

時代は、商船大学に限って20.7%であった。

船員職業は、個別職業としては第1位となっているが、従前の状態に比べれば、その志望率はきわめて低いとみられる。

② 入学時において、船員を志望していた比率は（ぜひなりたい、なってもよいの合計）、商船大学48.8%、商船高専62.0%、海員学校64.5%、また現在時において船員を志望している比率は、それぞれ44.2%、57.3%、73.8%となっている。

そのなかにおいて、商船高専や海員学校においては学科によって大きな違いは認められないが、商船大学の船員志望率についてはそうではない。入学時において航海学科76.7%、機関学科は25.7%、また現在時においてそれぞれ66.8%、25.6%となっている。そのあいだには大きな開きがある。同じ商船学科コースに入学していながら、決定的な違いがある。

③ 船員志望率は、中学、高校、入学時にかけて上昇する。その場合、海員学校にあってはそれが持続するが、商船大学と商船高専については入学時から現在時にかけて低下し

表4 入学時および現在の船員志向性(学科別)

単位：%、人

船員関係者		商船大学				商船高専			海員学校				
		航海学科	機関学科	原子動力	計	航海学科	機関学科	計	本科	専修航海	専修機関	司厨事務	計
入学時	ぜひなりたい	44.8	7.3	1.9	24.5	51.1	21.1	36.5	28.0	57.1	56.3	35.3	31.7
	なってもよい	31.9	18.4	13.5	24.3	26.4	24.5	25.5	33.1	28.6	25.0	38.2	32.8
	決めていない	15.5	29.1	19.2	21.6	15.1	28.0	21.4	24.4	4.1	6.3	14.7	21.5
	つもりなし	7.8	45.1	65.4	29.6	7.4	26.4	16.6	14.5	10.2	12.5	11.8	13.9
	実数	232	206	52	490	515	489	1,004	468	49	16	34	567
現在	ぜひなりたい	37.1	9.2	5.8	22.0	41.9	18.6	30.5	30.8	55.1	43.8	52.9	34.6
	なってもよい	29.7	16.4	11.5	22.2	29.7	23.9	26.8	40.3	36.7	25.0	35.3	39.2
	決めていない	19.0	31.9	11.5	23.6	18.2	26.3	22.2	16.7	6.1	12.5	5.9	15.0
	つもりなし	14.2	42.5	71.2	32.2	10.3	31.2	20.5	12.2	2.0	18.8	5.9	11.1
	実数	232	207	52	491	516	490	1,006	467	49	16	34	566

ている。そのなかにあつて、商船大学航海学科の10%の低下が注目される。

④ 在学中の船員志望の変化を詳しくみると、船員志望者がその志望を維持しつづける比率は商船大学70.8%、商船高専76.1%、海員学校本科89.5%、である。逆に、非志望者が船員志望に転換する比率は商船大学19.0%、商船高専26.7%、海員学校本科41.5%である。海員学校本科における持続率や転換率の高さが注目される。

⑤ 船員志望者が船員を志向する主な理由(2選択回答)についてみると、商船大学にあつては「サラリーマンと違いおもしろそう」55.8%、「前からのあこがれ」65.0%となっている。商船高専や海員学校も、それらが上位2位に選ばれているが、無回答や他になりたい職業がないも、少なくない。

⑥ 船員志望者が、希望する主な船員職業は、商船大学では外航船員68.2%、フェリー船員9.2%、商船高専では外航船員58.6%、

フェリー船員16.1%、海員学校はフェリー船員29.1%、内航船員25.7%、外航船員23.7%となっている。

商船高専はもとよりとして、商船大学にあつても外航船員がおしなべて選択されるという状況にはない。また、海員学校では、すでに内航船員が外航船員を上回る状況にあるとはいえ、フェリー船員が第1位に選択されていることは見逃せない。

⑦ 船員志望者のうち、船員はどれくらいつづけるかについては、定着志向があるときみられる比率は(定年まで、船機長までの合計)、商船大学62.6%、商船高専51.4%、海員学校43.2%である。その比率は、従前の状態に比べれば、かなり低いとみられる。

この結果と、すでにみた現時の船員志望率とを総合するとき、商船大学は商船高専や海員学校に比べ、その船員志望率は確かに低い。船員を志望する場合、かなり長期に定着するつもりでいる。それに対して商船高専

表5 希望する船員職業(学科別)

単位：%、人

希望船員	商船大学				商船高専			海員学校					
	航海学科	機関学科	原子動力	計	航海学科	機関学科	計	本科	専修航海	専修機関	司厨事務	計	
第一希望	外航船員	72.9	54.7	66.7	68.2	60.2	55.8	58.6	22.6	26.2	9.1	37.9	23.7
	内航船員	3.9	9.4	11.1	5.5	6.8	16.5	10.3	27.5	16.7	63.6	3.4	25.7
	フェリー船員	7.7	13.2	11.1	9.2	16.1	16.0	16.1	27.2	33.3	27.3	44.8	29.1
	官公庁船	7.7	11.3	11.1	8.8	5.4	4.4	5.1	10.1	9.5	0	3.4	9.3
	マリンレジャー	5.2	9.4	0	6.0	7.9	3.9	6.5	8.6	4.8	0	0	7.3
	その他	2.6	1.9	0	2.3	3.5	3.4	3.5	4.0	9.5	0	10.3	4.9
	実数	155	53	9	217	367	206	573	327	42	11	29	409
第二希望	外航船員	15.7	20.6	40.0	17.5	14.7	13.5	14.2	15.9	4.8	33.3	9.5	14.9
	内航船員	15.7	20.6	20.0	16.9	20.7	34.0	29.5	32.2	38.1	16.7	33.3	32.3
	フェリー船員	11.3	11.8	0	11.0	23.9	23.4	23.8	25.1	28.6	50.0	14.3	25.0
	官公庁船	31.3	14.7	20.0	27.3	18.1	13.5	16.5	11.3	14.3	0	4.8	10.8
	マリンレジャー	24.3	29.4	20.0	25.3	13.1	13.5	13.2	12.6	14.3	0	33.3	14.2
	その他	1.7	2.9	0	1.9	3.1	2.1	2.8	2.9	0	0	4.8	2.8
	実数	40	19	4	63	259	141	400	239	21	7	21	288

や海員学校の船員志望者にあつては、腰かけ気分がかなりみられるということとなる。

⑧ 船員志望者のうち、定着志向のないものが、船員職業に定着するようになってくれる主な条件として選ばれている項目は、「将来の家庭生活に支障がないなら」、「もっと休暇がたくさん取れるようなら」であるが、海員学校では「もっと収入が多ければ」が、それに次いでいる。

⑨ 非志望者が、そもそも船員にならない主な理由は、「前からなるつもりはない」、「他になりたい職業ができた」である。

⑩ なお、非志望者が希望する職業は、一般技術職、一般事務職、自動車整備工である。海員学校、商船高専、商船大学の順で、希望職業を上げえないものが多い。

⑪ 非志望者が、どのような条件があれば、船員になるかについては、商船大学や商船高専では「将来の家庭生活に支障がないなら」、海員学校では「もっと休暇がたくさん取れるようなら」が上げられている。

このように、船員志望者にあつて定着しようとしな条件と、そもそも船員を志望しない場合の条件はほぼ一致している。

E 将来の職業生活について

① 一般的に就職するにあつて重視する条件として、「仕事が自分の性格にあつている」、「将来性がある」が上げられている。ただ、海員学校については、「初任給や給与が高い」が上げられている。また、船員志望者にあつては、職業適応より海運企業の状態に関心が向いている。

② 船員になることで、どの程度の職業生活満足が得られそうかの予測をみると、「収入面での満足」と「仕事上の満足」に限り満足が得られるとしているだけで、「異性とのつき合い」や「家庭生活の満足」についてはほとんど満足がえられないとされている。ただ、その予測は船員志望者と非志望者とは対照的である。

③ 陸上職業につくことでは、どうかといえば、志望の別なく、それが満足されないのは「収入面での満足」のみで、他はすべておおむね満足されるとしている。船員における職業生活満足の予測とは対照的になっている。

④ 船員になる場合に重視する主な条件や事柄としては、「収入面で恵まれる」、「休暇が十分に取りうる」という労働条件と、「能力の発揮の機会が多い」、「船長・機関長になれる」という自己実現にある。

表6 船員職業の継続意志(学科別)

単位：％、人

継続意志	商船大学				商船高専			海員学校				
	航海学科	機関学科	原子動力	計	航海学科	機関学科	計	本科	専修航海	専修機関	司厨事務	計
定年まで	21.3	18.9	22.2	20.7	33.3	24.9	30.3	25.2	28.9	45.5	10.0	25.1
船機長まで	45.8	34.0	22.2	41.9	22.0	19.6	21.1	17.6	28.9	36.4	0	18.1
しばらく	20.6	28.3	0	21.7	26.3	38.3	30.6	32.2	28.9	18.2	60.0	33.5
わからない	12.3	18.9	55.6	15.7	18.4	17.2	18.0	24.9	13.3	0	30.0	23.4
実数	155	53	9	217	369	209	578	329	45	11	30	415

表7 就職時の重視条件(複数回答)

単位：％、人

	商船大学			商船高専			海員学校		
	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計
将来性がある	51.4	42.9	46.7	56.9	47.9	53.1	40.0	28.9	36.9
会社の規模が大きい	17.4	7.6	13.0	20.4	10.4	16.1	16.9	8.6	14.7
初任給や給与が高い	29.8	26.9	28.2	49.8	37.7	44.7	40.2	34.2	38.6
通勤に都合よい	6.0	13.8	10.3	8.1	16.2	11.6	7.4	13.2	8.9
社風がよい	32.1	20.7	25.8	20.6	18.1	18.7	9.5	8.6	9.3
経営が安定している	24.3	23.6	23.9	33.4	20.1	27.7	23.8	19.1	22.6
休日が多く残業がない	16.1	24.7	20.9	21.8	26.2	23.7	23.6	24.3	23.8
有名な会社	6.4	5.8	6.1	10.6	8.1	9.5	10.5	11.8	10.8
仕事が性格にあう	56.9	67.3	62.7	43.8	63.2	52.1	24.3	37.5	27.8
事業の内容に興味	33.5	45.5	40.2	13.3	23.8	17.8	3.1	7.2	4.2
外地勤務の機会あり	9.6	4.4	6.7	5.0	4.6	4.9	2.6	3.9	3.0
その他	3.7	3.6	3.7	1.6	4.9	3.0	1.2	2.0	1.4
無回答	12.8	11.3	12.0	16.1	18.8	17.2	96.9	101.3	98.1
実数	218	275	493	578	432	1,010	420	152	572

表8 船員職業生活満足の予測(△%)

単位：％、人

	商船大学			商船高専			海員学校		
	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計
仕事上の満足	71.6	12.7	38.7	53.7	0.0	30.6	31.0	-18.5	17.9
家庭生活の満足	-74.8	-79.3	-77.3	-47.7	-69.1	-56.9	-29.4	-45.7	-33.7
収入面での満足	61.5	62.9	62.3	72.1	60.8	67.3	55.8	27.8	48.4
趣味的活動の充実	-4.1	-44.4	-26.6	4.7	-42.5	-25.5	-11.5	-37.7	-18.4
良好な健康状態	-8.7	-25.1	-17.8	-2.6	-26.9	-13.0	-0.2	-15.2	-4.2
友人づき合いの充実	-39.4	-47.6	-44.0	-22.6	-43.4	-31.5	-21.5	-29.1	-23.5
異性とのつき合い	-80.7	-82.9	-81.9	-64.1	-73.8	-68.3	-47.5	-47.0	-47.4
実数	218	275	493	574	431	1,005	669	151	570

表9 陸上職業生活満足の予測(△%)

単位：％、人

	商船大学			商船高専			海員学校		
	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計
仕事上の満足	-27.5	36.4	8.1	-20.9	28.4	0.2	-0.5	29.6	10.7
家庭生活の満足	49.1	57.1	53.5	54.4	64.0	58.5	48.6	55.3	50.4
収入面での満足	-30.3	-9.5	-18.7	-38.7	-19.5	-30.2	-29.7	-10.5	-24.6
趣味的活動の充実	27.1	57.8	44.2	41.5	61.2	49.9	39.7	57.9	44.6
良好な健康状態	28.4	29.8	29.2	34.3	41.9	37.5	33.0	44.1	36.0
友人づき合いの充実	62.8	67.6	65.5	68.6	75.6	71.6	63.9	70.4	65.6
異性とのつき合い	56.9	53.1	54.8	67.8	62.2	67.5	52.9	55.3	53.5
実数	218	275	493	574	430	1,004	669	151	570

⑤ 船員になる場合に、気がかりとなっている主な事項は、「家庭生活に恵まれるか」、「雇用は安定しているか」、「デートの相手が見つかるか」である。ただ、商船高専、海員学校にあっては、「上級免状が取れるか」や

「仕事技術がマスターできるか」が加わる。

⑥ 船員志望者にあつて、どういった職位まで到達したいとしているかをみると、船長・機関長までとするのは商船大学90.4%、商船高専79.8%、海員学校63.2%となっている。

表10 船員になる場合重視する条件や事柄 (△%)

単位：%、人

	商船大学			商船高専			海員学校		
	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計
定年まで続けられる	-6.5	-15.0	-11.2	4.4	-11.5	-2.4	7.2	-38.3	-4.8
いろいろな港を訪れる	50.9	27.8	38.0	27.9	15.5	22.6	0.7	-3.4	-0.4
収入の面で恵まれる	74.1	80.6	77.7	82.5	77.6	80.5	82.8	61.7	77.2
乗下船のサイクルが短い	6.5	32.6	21.1	17.3	23.1	19.7	22.0	15.4	20.3
陸上勤務の機会がある	-25.9	19.4	-0.6	-33.3	16.5	-12.1	-29.7	7.4	-19.9
専門的な能力が身につける	56.9	46.5	51.1	60.4	44.5	53.6	61.0	32.9	53.6
さまざまな人々に出会える	42.6	28.9	35.0	54.5	41.9	49.1	32.5	16.1	28.2
陸上転職できる能力をつける	-8.3	30.4	13.3	12.6	50.8	28.9	6.0	34.2	13.4
上司や同僚に恵まれる	75.9	63.4	68.9	65.1	56.5	61.4	40.7	4.5	25.3
のんびり職業生活を送れる	34.3	18.7	25.6	34.9	33.6	34.4	15.9	1.2	9.6
能力発揮の機会が多い	62.0	46.5	53.4	49.7	34.8	43.4	39.7	16.1	33.5
世のため、人のため役立つ	10.2	-5.5	1.4	15.5	-4.5	7.0	5.7	-3.4	3.4
船長や機関長になれる	71.3	30.4	46.4	54.3	32.0	44.8	45.0	20.8	38.6
休暇を十分に取れうる	69.4	72.2	71.0	69.1	61.2	65.7	63.2	49.7	57.8
実数	216	273	489	573	425	998	418	149	567

表11 船員になる場合の気がかり (△%)

単位：%、人

	商船大学			商船高専			海員学校		
	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計	船員希望	非船員希望	計
家庭生活に恵まれるだろうか	65.1	75.3	70.8	55.3	70.9	62.0	50.5	63.3	53.8
船内人間関係をうまくやれるか	21.1	28.7	25.4	12.4	20.2	15.7	32.5	6.1	25.6
上級免状が取れるだろうか	-13.3	-24.4	-19.5	38.6	25.4	32.9	34.4	11.6	28.4
仕事技術をマスターできるか	6.4	-0.4	0.6	48.5	33.8	42.2	51.2	16.3	42.1
雇用は安定しているだろうか	45.9	54.2	50.5	50.8	42.3	47.1	33.9	24.5	31.4
世の動きにうとくならないか	-14.7	22.2	5.9	-12.7	19.0	0.8	2.6	11.6	5.0
デートの相手が見つかるか	45.9	53.5	50.1	36.5	48.6	41.6	35.3	49.7	39.3
陸上転職がうまくいくか	-2.8	23.6	12.0	10.5	35.2	21.0	11.5	15.6	12.6
海上生活に適応できるか	-16.5	17.8	2.6	2.1	29.8	13.9	17.3	19.0	17.8
船の仕事はきつくないか	-22.0	9.1	-4.7	-2.4	17.1	5.9	15.9	19.0	16.5
やりがいもち仕事できるか	-13.8	24.7	7.7	6.5	27.5	15.4	6.0	27.9	11.7
海難事故に遭遇しないか	-40.4	-10.5	-23.7	-16.9	-7.3	-12.8	2.4	-6.8	0.0
昇進が遅いのではないか	-46.8	-37.8	-41.8	-16.1	-19.2	-17.4	9.9	1.4	7.6
技術革新についていけるか	-39.4	-21.5	-29.4	-3.3	-1.6	-2.6	-20.7	-40.1	-25.8
実数	218	275	493	573	426	999	416	147	563

F ま と め

第1に、商船科系教育機関の在学者が、卒業後、どれくらい船員職業を志向するかであるが、その比率は商船大学44.2%、商船高専57.3%、海員学校73.8%であり、それを調査対象数からみれば、それぞれ年間126人、121人弱、158人強となる。

第2に、商船科系教育機関在学者の船員志向は、在学中、変化するかどうかであるが、商船大学や商船高専では低下、海員学校では上昇する傾向が認められた。特に、前者においては、入学時の船員志望者のかなりの数が脱落したことによる。なお、非志望者や船員志向に変化しないわけではない。

第3に、船員志望者は非志望者に比べ、何が違うかであるが、それは身近になんらかの船員がいる(いた)、少年時代から船員職業が念頭にあった、入学や志向について親が反対しない、学校を第1位で志望、入学している、船員になることに適性を自ら認めている、海運業に関心を寄せているなどである。

第4に、船員志望者の定着志向はどうなっているかであるが、それがあるのは商船大学62.6%、商船高専51.4%、海員学校43.2%であり、それを調査対象数からみれば、それぞれの歩留まりは約28%=79人、約29%=62人、約32%=68人となる。

第5に、船員志向にあたって、それを促進あるいは阻害している要因は何かであるが、前者は収入面が恵まれる、仕事に満足できるであり、後者は家庭生活に恵まれない、雇用が安定していない、デートの相手がみつからないである。

第6に、船員職業を、陸上職業と比較する

とき、何を肯定的にとらえているかであるが、それは収入面が恵まれることに限られ、他のすべての要因はおおむね否定的となっており、それらは仕事適応以外における船員志向や船員定着を左右する根拠となっている。

2 水産科系船員教育機関在校生の船員職業観について

A 調査の目的と方法

調査の目的は、水産系の大学(大学校)及び水産高等学校の在校生が船員職業についてどのような職業意識や職業に対する定着意識を持っているかを明らかにすること、さらに船員(漁船)職業及び水産業に対する志向性の関連要因についても検討することにある。

水産系大学6校500人、水産高等学校9校2,000人を対象としてアンケート調査を行った。対象とした水産系大学は船舶職員養成コースを持つ6大学を対象とし、水産高等学校においては、船舶職員養成及び通信コースを持つ9高等学校を対象とした。調査は、学校配布方式のアンケート調査だけでなく、学校での新生生の募集、入学者の状況、在校生の進路選択と求人者の状況、卒業生の就職、職業定着の状況等の実状を、学校を訪問して、就職指導等に当たっている先生から直接ヒアリングした。

アンケートは水産高校9校2,561人(全日制生徒2,314人、専攻科生徒247人)水産大学校120人(学部学生100人、専攻科20人)の計2,681人の在校生に配布した。アンケートの回収は、水産高校8校1,855人(回収率72.4

%)、大学校1校55人(同45.8%)の計1,910人から回収でき、アンケート回収率は全体で71.2%となった。

B 対象者の属性など

1 家族背景

(1) 保護者の職業

保護者の職業をみると、水産高校生では、「その他(商・工業、民宿等の自営業などが含まれる)」42.4%が最も多く、次いで「漁業会社以外の会社勤め(以下・会社勤め)」27.5%、「漁業自営」11.8%、「公務員」7.8%、「漁業会社勤め」7.4%と続く。保護者が漁業及び水産関係者であるのは、「漁業自営」及び「漁業会社勤め」を合わせた19.2%で2割弱でしかない。水産大学校についてみると、「会社勤め」が49.1%と最も高く、次いで「その他」32.7%、「漁業会社勤め」と「公務員」が同数の7.3%となり、「漁業自営」はわずか3.6%でしかなく、「漁業会社勤め」と「漁業自営」を合わせた漁業・水産関係者はわずか10.9%でしかなく、多くの保護者は都市勤労世帯となっている。

(2) 船員関係者の有無

生徒・学生の身内(祖父、父、兄弟、親戚)や友人・知人、隣人に、船員関係者がいるか(船員である)否か(船員でない)をみた。生徒・学生の身近な船員関係者として最も多いのが「親戚の者」34.9%で、ほぼ生徒・学生の3人に1人の割合で船員関係者がいることを示している。そのことは逆に3分の2の生徒・学生には、身近な存在には船員関係者がいないことをも意味していることになる。次いで、多いのが「近所の人」で

30.5%、「友人・知人」25.8%、「父」23.0%、「祖父」19.6%と続く。直系身内の中では「父」が最も高い比率となるが、「友人・知人」を下回ったものとなっている。

2 志望理由

表1は、進学にあたり、現在の学校をどの様な基準で選択したかをみたものであるが、水産高校では、「資格を取るために」が最も多く23.1%、次いで「ただ何となく」17.6%、「先生に進められたから」13.9%、「その他」8.0%、「家が漁業または水産関係だから」と「就職に有利だから」が同数の6.4%と続いており、選択肢の上位5位までには「水産が好きだから」3.8%、「船に乗りたい」6.0%等の船員及び漁業・水産業の職業選択にとって積極的な理由と考えられるものはなく、全体的に低いものとなっている。なおかつ、進学に当たっては生徒個人の進学希望より、中学校の先生等第三者の意向が強いものとなっているようである。一方、大学校においては、「水産が好きだから」34.5%を最も高い理由としてあげており、学生個人の選択性が水産高校より強いものとなっている。次いで、「ただ何となく」16.4%、「船に乗りたいから」と「その他」が同数の14.5%となり、水産高校で最も高い「資格を取るため」は5.5%でしかなく、大学校では、資格取得より好きなことを勉強したい傾向を持ったものとなっている。

表1 進学理由(学校・学科別)

	水産好き	船乗	資格取得	将来	家業	家族知人	推薦入学	先生推薦	大学入学	就職有利	何	その他	無回答	計	実数
小樽	4.4	5.7	23.6	3.9	9.2	3.9	5.2	7.9	2.2	4.8	19.7	9.2	0.4	100.0	229
宮古	3.2	7.5	16.6	2.1	7.0	4.8	0.0	15.0	0.0	9.6	26.2	8.0	0.0	100.0	187
小名浜	3.3	4.6	30.9	3.6	3.0	4.3	4.9	8.2	0.0	6.9	21.4	7.9	1.0	100.0	304
三崎	6.4	6.8	19.9	2.9	10.9	4.2	1.6	19.3	0.0	6.1	11.6	10.3	0.0	100.0	311
焼津	4.7	3.7	12.1	1.4	5.1	9.8	14.4	20.9	0.9	5.6	14.4	5.6	1.4	100.0	215
三谷	2.6	3.0	20.8	1.0	5.6	6.9	10.9	13.9	0.7	9.2	17.5	7.9	0.0	100.0	303
富山	1.6	7.3	14.6	0.0	1.6	2.4	1.6	28.5	0.8	4.9	26.8	9.8	0.0	100.0	123
鹿児島	2.2	12.6	43.7	9.8	6.6	8.2	1.1	2.2	0.0	1.6	7.1	4.9	0.0	100.0	183
水高計	3.8	6.0	23.1	3.1	6.4	5.6	5.4	13.9	0.5	6.4	17.5	8.0	0.4	100.0	1,855
大専校	34.5	14.5	5.5	0.0	3.6	3.6	1.8	1.8	0.0	3.6	16.4	14.5	0.0	100.0	55
総計	4.7	6.2	22.6	3.0	6.3	5.5	5.3	13.5	0.5	6.3	17.5	8.2	0.4	100.0	1,910
(学科別)															
海洋漁業	9.3	10.2	12.0	1.1	14.5	5.0	2.9	13.1	0.5	3.8	18.2	8.9	0.5	100.0	559
水産工学	2.4	6.7	21.5	3.6	5.7	6.5	5.7	14.0	0.4	8.1	17.6	7.7	0.2	100.0	507
情報通信	2.6	1.3	27.2	4.5	0.9	5.1	7.6	14.7	0.7	7.9	18.7	8.3	0.4	100.0	685
漁業専攻	8.1	19.4	22.6	1.6	8.1	9.7	4.8	4.8	0.0	4.8	11.3	4.8	0.0	100.0	62
機関専攻	3.0	18.2	36.4	0.0	0.0	3.0	0.0	15.2	0.0	0.0	12.1	12.1	0.0	100.0	33
通信専攻	1.6	1.6	68.3	1.6	0.0	4.8	1.6	7.9	0.0	1.6	6.3	4.8	0.0	100.0	63
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	1
計	4.7	6.2	22.6	3.0	6.3	5.5	5.3	13.5	0.5	6.3	17.5	8.2	0.4	100.0	1,910
漁船カク	9.1	35.1	19.5	0.0	29.9	1.3	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	100.0	77
漁船モク	5.9	18.6	14.4	3.4	32.2	4.2	3.4	6.8	1.7	1.7	4.2	3.4	0.0	100.0	118
商船カク	9.2	40.2	13.8	3.4	4.6	4.6	4.6	2.3	2.3	3.4	6.9	0.0	0.0	100.0	87
商船モク	1.9	11.5	42.3	2.9	4.8	5.8	1.0	13.5	0.0	2.9	11.5	1.9	0.0	100.0	104
決カク	6.1	2.6	26.9	5.0	5.8	8.8	3.8	12.9	0.6	5.8	16.1	5.3	0.3	100.0	342
船員カク	4.6	2.3	29.8	2.3	2.3	3.2	6.0	13.8	0.0	6.4	19.7	9.2	0.5	100.0	218
水産就職	18.5	2.8	12.0	4.6	12.0	3.7	2.8	13.9	0.0	9.3	11.1	9.3	0.0	100.0	108
水産職カク	1.4	0.7	20.3	2.5	1.2	6.1	7.4	15.8	0.5	8.2	24.0	11.6	0.4	100.0	809
無回答	6.4	0.0	19.1	0.0	6.4	0.0	2.1	31.9	0.0	6.4	21.3	4.3	2.1	100.0	47
計	4.7	6.2	22.6	3.0	6.3	5.5	5.3	13.5	0.5	6.3	17.5	8.2	0.4	100.0	1,910
実数	89	119	431	57	121	106	101	258	10	120	334	157	7	1,910	

3 自己評価

(1) 船員適性に対する評価

自分が船員に向いているか、否かを自己診断してもらると、84.7%が「船員には向いていない」と答えている。

船員志向との関係でみると、漁船船員にぜひになりたい、なってもよいとする者は、どの項目においても半数以上が肯定的な回答をしており、特に、「性格が明るい」84.4%（ぜひになりたい）、80.5%（なってもよい）、「体力・健康に自信がある」79.6%（ぜひになりたい）、66.1%（なってもよい）、「好奇心が強い」83.1%（ぜひになりたい）、74.6%（なってもよい）、「船員に向いている」81.8%（ぜひになりたい）、52.5%（なってもよい）となっている。商船船員になりたい、なってもよい、漁船船員に次ぐ高い肯定的な回答を、いずれの項目においても示している。

(2) 海に対する興味、魅力

海にどのような興味や魅力を感じているかを聞いてみると、「おおらかさを感じる」27.5%、次いで「ロマン」を19.0%、「男らしさ」17.9%、「親しみ」17.6%、そして「その他」13.7%と続き、現代っ子が何事においても求めるといわれている「かっこよさ」はわずか3.2%でしかない（表2）。

船員志向との関係でみると、漁船船員にぜひになりたいでは、「男らしさ」が最も多く35.1%、次いで「親しみ」24.7%、「ロマン」16.9%となり、漁船船員になってもよいの第1順位は「親しみ」の27.1%で、以下、「男らしさ」25.4%、「ロマン」を感じる19.5%となる。商船船員にぜひになりたいでは、「ロマン」と「男らしさ」が最も多くともに26.4%、次いで「親しみ」19.5%となる。商船船員になってもよいは、「おおらかさ」24.0%

で、「ロマン」、「男らしさ」、「親しみ」が同数の22.1%となっている。船員志向の高いものほど、海に対して「男らしさ」や「親しみ」といったより具体性のある身近なものを感じていることを示している。

「高度化技術」15.8%、「漁船船員不足」15.7%、「安月給」12.3%、「国際漁業」11.5%、「魚価安」10.6%、「外国人船員の増加」9.1%、「マリノベーション」6.4%、「資源管理型漁業」5.9%、「離職船員」、「遠洋漁業」

表2 海に感じる興味や魅力

	ロマン	男らしさ	カッコイイ	親しみ	カッコイイ	その他	無回答	計	実数
小樽	18.8	22.7	4.8	17.5	25.8	9.6	0.9	100.0	229
宮古	25.7	17.1	2.1	24.1	21.9	8.6	0.5	100.0	187
小名浜	18.8	15.1	1.3	19.4	29.3	14.5	1.6	100.0	304
三崎	22.5	13.5	3.9	25.1	24.8	9.3	1.0	100.0	311
焼津	17.7	19.5	5.6	10.7	27.0	17.2	2.3	100.0	215
三谷	16.2	15.8	3.0	11.2	32.7	20.1	1.0	100.0	303
富山	19.5	11.4	5.7	17.1	27.6	17.9	0.8	100.0	123
鹿児島	12.6	28.4	0.5	14.8	30.1	12.6	1.1	100.0	183
水産計	19.0	17.7	3.2	17.6	27.6	13.7	1.2	100.0	1,855
大専校	18.2	23.6	1.8	18.2	23.6	14.5	0.0	100.0	55
総計	19.0	17.9	3.2	17.6	27.5	13.7	1.2	100.0	1,910
(学科別)									
海洋漁業	18.4	23.8	5.2	17.0	23.6	11.3	0.7	100.0	559
水産工学	19.3	18.1	3.0	18.3	26.2	12.8	2.2	100.0	507
情報通信	19.0	12.3	2.3	17.2	31.8	16.4	1.0	100.0	685
漁業専攻	22.6	22.6	1.6	19.4	19.4	14.5	0.0	100.0	62
機関専攻	21.2	15.2	0.0	27.3	21.2	15.2	0.0	100.0	33
通信専攻	15.9	20.6	0.0	15.9	36.5	11.1	0.0	100.0	63
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	1
計	19.0	17.9	3.2	17.6	27.5	13.7	1.2	100.0	1,910
漁船カワイイ	16.9	35.1	6.5	24.7	15.6	1.3	0.0	100.0	77
漁船モテイ	19.5	25.4	2.5	27.1	17.8	7.6	0.0	100.0	118
商船カワイイ	26.4	26.4	5.7	19.5	11.5	10.3	0.0	100.0	87
商船モテイ	22.1	22.1	4.8	22.1	24.0	4.8	0.0	100.0	104
決マナイ	20.8	17.0	3.2	17.8	30.7	9.6	0.9	100.0	342
船員マナイ	13.8	19.3	3.2	13.8	35.8	13.8	0.5	100.0	218
水産就職	15.7	30.6	3.7	19.4	21.3	9.3	0.0	100.0	108
水産職マナイ	19.0	12.5	2.6	15.3	29.5	19.5	1.5	100.0	809
無回答	17.0	8.5	0.0	21.3	25.5	14.9	12.8	100.0	47
計	19.0	17.9	3.2	17.6	27.5	13.7	1.2	100.0	1,910
実数	362	341	61	337	525	262	22	1,910	

C 船員職業評価

1 漁業や漁船船員に対する関心や興味

水産高校の生徒で最も高い関心や興味を示したものは、「200海里問題」と「自然・環境保護」でともに33.4%と、次いで「高給取り」であり32.0%となる。これら上位3位までの項目は、3人に1人の生徒が関心や興味を持っていることになる。以下、「バイオテクノロジー」26.7%、「長期航海」20.9%、「情報化社会」18.3%、「栽培漁業」16.0%、

からの撤退」、「希望が持てる」はともに5.3%で、以上の順となっている。「200海里問題」や「自然・環境保護」等の漁業・水産業を取り巻く社会問題に対する関心の高さとともに、将来職業するであろう船員に対しても「高給取り」として期待を込めた関心の示し方をしたものとなっている。さらに、「バイオテクノロジー」や「情報化社会」、「栽培漁業」、「高度化技術」等の最近の漁業・水産業分野での技術革新に対する関心も、それ

表3 漁業・漁船船員に対する関心や興味(複数回答)

2000海里 離島船員資源管理自然保護利用ハニ 魚師安 遠洋撤退 バイオ 栽培漁業国際漁業高度技術船員不足外国船員長期航海 希望	高給	安月給	情報化	無回答	計	実数															
小樽	40.2	5.7	7.4	27.5	9.8	11.4	20.5	17.5	14.4	10.0	6.1	18.8	4.4	30.1	13.1	17.0	14.4	282.1	229		
室古	41.2	5.9	4.3	23.3	4.8	12.3	4.6	32.6	16.0	11.8	18.2	2.7	32.6	17.1	17.6	17.1	17.6	294.1	187		
小笠原	28.9	5.6	4.3	28.9	4.6	8.2	7.9	37.8	18.1	12.5	17.8	4.6	16.8	8.2	36.5	12.5	16.8	7.9	293.8	304	
三陸	29.3	2.3	5.1	40.8	6.8	10.6	4.2	27.0	18.6	14.1	18.3	16.1	20.3	4.8	26.4	14.5	19.3	6.8	297.7	311	
徳津	29.8	8.4	9.8	38.1	3.7	13.0	5.1	22.8	13.0	9.3	14.9	22.3	23.3	3.7	27.9	15.3	13.5	5.6	294.9	215	
三谷	34.7	6.3	6.3	33.7	11.6	9.9	3.3	22.8	11.6	10.6	14.2	14.2	7.3	25.1	5.0	28.1	13.5	16.8	21.5	296.0	303
富山	36.6	4.1	7.3	35.0	5.7	12.2	6.5	27.6	22.8	12.2	11.4	12.2	4.1	20.3	8.1	36.6	9.8	15.4	7.3	295.1	123
鹿児島	31.1	4.9	3.3	32.2	1.1	9.3	1.1	20.2	12.0	12.6	20.8	20.2	10.9	24.6	6.0	43.7	4.4	31.7	4.9	295.1	183
水産計	33.4	5.3	5.9	33.4	6.4	10.6	5.3	26.7	16.0	11.5	15.8	15.7	9.1	20.9	5.3	32.0	12.3	32.0	11.1	295.0	1,855
大分校	23.0	9.1	29.1	52.7	10.9	1.8	10.9	23.6	20.0	29.1	14.5	12.7	14.5	18.2	1.8	14.5	5.5	3.6	5.5	298.2	55
総計	33.0	5.4	6.5	34.0	6.5	10.4	5.4	26.6	16.1	12.0	15.8	15.6	9.3	20.8	5.2	31.5	12.1	17.9	10.9	295.1	1,910
(学校別)																					
海洋漁業	35.1	5.9	8.4	28.9	10.2	12.5	7.2	24.7	22.7	14.7	11.1	17.9	9.5	22.5	7.2	29.0	13.4	7.5	8.1	297.3	559
水産工学	30.6	4.7	5.5	34.5	6.1	10.3	4.7	28.2	12.6	11.4	16.8	13.0	10.5	23.1	5.5	34.7	9.5	14.2	18.5	294.5	507
情報通信	33.4	5.1	4.2	37.4	4.7	9.6	3.6	27.9	13.6	10.5	18.5	14.2	6.0	17.4	4.1	30.8	13.4	29.9	9.3	293.7	685
漁業専攻	30.6	9.7	17.7	29.0	6.5	11.3	9.7	11.3	14.5	19.4	9.7	27.4	21.0	19.4	3.2	35.5	11.3	1.6	4.8	293.5	62
機農専攻	24.2	3.0	12.1	51.5	0.0	3.0	3.0	30.3	12.1	6.1	21.2	21.2	27.3	24.2	3.0	36.4	6.1	15.2	0.0	300.0	33
通信専攻	34.9	7.9	9.5	23.8	0.0	3.2	12.7	31.7	15.9	6.3	22.2	17.5	12.7	23.8	1.6	28.6	12.7	23.8	4.8	293.7	63
無回答	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	300.0	1
計	33.0	5.4	6.5	34.0	6.5	10.4	5.4	26.6	16.1	12.0	15.8	15.6	9.3	20.8	5.2	31.5	12.1	17.9	10.9	295.1	1,910
(船員選択・現在の気持ち)																					
漁船好き	39.0	5.2	11.7	22.1	3.9	28.6	15.6	7.8	14.3	14.3	9.1	27.3	5.2	24.7	11.7	39.0	11.7	3.9	0.0	294.8	77
漁船好き	27.1	2.5	7.6	32.2	5.1	16.1	8.5	15.3	21.2	15.3	17.8	22.9	12.7	23.7	8.5	41.5	5.9	8.5	4.2	296.6	118
商船好き	31.0	5.7	9.2	26.4	4.6	9.2	12.6	16.1	12.6	10.3	14.9	18.4	28.7	24.1	8.0	37.9	14.9	8.0	5.7	298.9	87
商船好き	29.8	3.8	6.7	46.2	6.7	7.7	7.7	26.0	19.2	9.6	16.3	19.2	15.4	27.9	1.9	26.9	6.7	13.5	2.9	294.2	104
漁舟	34.5	6.4	5.8	32.7	7.3	7.6	4.4	25.7	16.7	13.5	17.5	10.8	8.8	22.2	6.4	28.4	12.0	20.2	13.2	294.2	342
船員好き	35.8	7.8	5.5	36.7	4.6	8.7	8.3	27.5	13.8	11.0	13.3	19.7	5.5	21.1	3.7	31.7	11.0	15.6	14.7	295.9	218
水産就職	35.2	6.5	15.7	40.7	11.1	6.5	1.9	27.8	23.1	13.9	9.3	19.4	10.2	19.4	5.6	22.2	10.2	11.1	5.6	295.4	108
水産職不	32.1	4.9	5.2	33.3	6.9	10.6	3.2	32.3	14.7	11.6	17.1	13.0	7.4	18.4	3.7	31.6	14.1	23.0	11.7	294.9	809
無回答	34.0	4.3	2.1	38.3	2.1	6.4	4.3	10.6	19.1	6.4	12.8	17.0	8.5	17.0	12.8	31.9	12.8	12.8	38.3	291.5	47
1年	32.5	5.4	5.7	33.8	7.6	8.3	5.0	30.4	16.9	12.8	19.2	10.6	7.6	19.8	7.5	30.4	12.8	20.3	9.3	295.6	616
2年	32.0	6.0	7.3	31.5	5.1	11.3	5.4	24.3	15.1	11.4	14.8	16.8	10.0	18.7	4.2	31.5	13.8	18.7	15.1	293.2	647
3年	34.6	4.6	6.4	36.3	6.6	11.6	5.7	25.9	16.4	11.5	13.5	19.3	9.7	24.1	4.2	32.5	9.9	14.9	8.5	296.4	686
無回答	27.3	27.3	18.2	54.5	18.2	0.0	18.2	0.0	9.1	36.4	9.1	9.1	27.3	9.1	0.0	27.3	9.1	0.0	0.0	300.0	11
計	33.0	5.4	6.5	34.0	6.5	10.4	5.4	26.6	16.1	12.0	15.8	15.6	9.3	20.8	5.2	31.5	12.1	17.9	10.9	295.1	1,910
実数	630	104	125	649	124	188	104	509	307	280	301	288	177	397	100	601	282	341	209	5,636	

なりに持ったものとなっている。

大学校では、「自然・環境保護」を半数以上の52.7%の学生が関心を示している。次いで、「資源管理型漁業」と「国際漁業」が同数の29.1%、「バイオテクノロジー」23.6%、「200海里問題」と「栽培漁業」も同じ20.0%で、以上が2割以上の学生が関心を示した項目である。以下、「長期航海」18.2%、「高度化技術」、「外国人船員の増加」、「高給取り」が同数の14.5%、「マリノバージョン」と「遠洋漁業からの撤退」とも10.9%、「離職船員」9.1%、「安月給」5.5%、「情報化社会」3.6%、「魚価安」と「希望が持てる」がともに1.8%となる。水産高校では関心が低い「資源管理型漁業」や「国際漁業」等に大学生は高い関心を示し、国の漁業・水産産業政策に関わる問題に対して理解したものとなっている。一方、「離職船員」や「船員不足」、「外国人船員の増加」といった、漁船船員を取り巻く具体的な社会問題に対しての関心は低い。

2 漁船船員職業イメージ

水産高校生の漁業・漁船船員に対する職業イメージとして最も高いのは、「たくましい」48.2%で、半数以上の生徒・学生がイメージするものとなっている。次いで「危険」45.9%、「厳しい」45.0%、「男らしい」43.7%、「強い」30.8%、「汚い」22.6%「ダサイ」12.7%「格好悪い」10.2%「古い」8.9%「明るい」7.8%「寂しい」7.5%「楽しい」3.7%、「暗い」3.3%、「やさしい」3.2%、「格好良い」2.0%、「快適」と「近代的」が同数の0.9%、「清潔」0.5%の順序となる(表4)。

大学校においては、「厳しい」がダントツ

に多く67.3%、「男らしい」52.7%と続き、これら2項目は過半数の学生が漁業や漁船船員に対するイメージとして持っている。次いで「たくましい」47.3%、「危険」41.8%、「強い」21.8%、「汚い」20.0%の順となり、以上2割の学生によりイメージされているものである。以下、10%台のものはなく、「寂しい」、「格好良い」、「格好悪い」が同数の7.3%、「楽しい」と「古い」も同数の5.5%、「明るい」3.6%、「暗い」、「やさしい」、「近代的」が同数の1.8%となっている。大学生のイメージは、高校生よりも絞りこまれたものとなっており、漁業や漁船船員の現実を「厳しい」とみる反面、「男らしい」、「たくましい」等と、積極的に評価する側面も示している。一方、水産高校生の方は、固定的なイメージはなく拡散的なものとなっている。

船員志向との関係でみると、漁船船員にぜひなりたいたいと思っている者は、自ら選択しようとする職業に対して、「男らしい」70.1%と「たくましい」55.8%、そして「強い」44.2%と、積極的に肯定的評価イメージを持っていることが明確に出ている。漁船船員になってもよいと考えている者は、「男らしい」59.3%、「たくましい」55.1%と評価している反面、「厳しい」54.2%面もみていることを示している。また、ぜひ商船船員になりたい者は、「たくましい」58.6%とみている反面、漁船船員を「厳しい」54.0%、「危険」48.3%とみている。商船船員になってもよいという者は、「たくましい」61.5%と「男らしい」52.9%とみているが、「厳しい」48.1%面もイメージしている。

表4 漁業・漁船船員について連想するイメージ（複数回答）

	男らしい	明るい	強い	ざみしい	たのしい	危険	暗い	汚い	格好悪い	汚い	清潔	快適	格好悪い	やさしい	サイズ	近代的	古い	厳しい	無回答	計	実数
小舟	34.9	6.6	26.6	6.6	3.5	38.9	3.9	30.6	1.7	45.4	0.0	2.2	17.5	2.6	15.7	0.9	7.4	50.7	3.9	289.6	229
舟楫	52.4	7.0	38.5	6.4	5.3	50.3	2.1	17.6	2.7	50.3	0.5	1.1	8.0	2.7	11.8	1.1	4.3	36.9	0.0	288.9	187
倉庫	32.6	14.1	26.6	7.6	3.6	52.0	6.3	25.3	0.7	40.8	1.3	1.3	13.2	3.9	16.4	1.3	7.9	42.1	2.0	289.0	304
小舟	46.3	7.7	31.8	7.1	4.2	39.9	1.3	16.4	3.2	55.3	0.6	0.6	9.0	2.9	11.3	0.3	8.0	53.4	0.0	289.4	311
二輪	41.9	5.1	27.9	5.6	3.7	50.2	2.3	27.0	0.9	47.4	0.5	1.4	11.2	2.3	13.5	0.5	14.4	42.8	0.9	289.5	215
焼屋	45.2	7.3	33.7	10.9	3.3	51.8	4.3	23.1	1.7	41.3	0.0	0.3	7.9	3.0	14.2	0.7	9.9	39.6	1.0	289.0	303
三谷	35.8	4.1	24.1	8.9	2.4	49.6	3.3	30.1	4.9	44.7	0.8	0.0	10.6	2.4	9.8	0.8	10.6	54.5	0.0	287.6	123
富士	65.0	6.0	36.1	6.0	2.7	33.3	2.2	13.1	2.2	64.5	0.0	0.0	3.3	6.0	4.9	1.6	9.8	41.5	1.6	300.0	183
鹿児島	43.7	7.8	30.8	7.5	3.7	45.9	3.3	22.6	2.0	48.2	0.5	0.9	10.2	3.2	12.7	0.9	8.9	45.0	1.2	289.2	1,855
水産	52.7	3.6	21.8	7.3	5.5	41.8	1.8	20.0	7.3	47.3	0.0	0.0	7.3	1.8	7.3	1.8	5.5	67.3	0.0	300.0	55
大学校	44.0	7.6	30.5	7.5	3.7	45.8	3.3	22.6	2.2	48.2	0.5	0.9	10.2	3.2	12.6	0.9	8.8	45.6	1.2	289.2	1,910
計	44.0	7.6	30.5	7.5	3.7	45.8	3.3	22.6	2.2	48.2	0.5	0.9	10.2	3.2	12.6	0.9	8.8	45.6	1.2	289.2	1,910
(学科別)																					
海洋漁業	46.5	8.1	29.2	8.2	4.7	45.1	3.2	26.1	3.2	43.8	0.9	1.4	8.8	3.4	11.1	0.5	6.4	48.5	0.4	289.5	559
水産工学	41.0	8.1	31.6	7.7	3.0	44.6	3.2	20.5	1.6	50.5	0.6	0.6	9.5	3.9	13.4	0.8	9.3	46.4	2.4	288.4	507
情報通信	43.4	6.9	30.2	6.9	3.5	46.0	3.9	22.5	2.0	49.2	0.1	0.7	12.7	2.5	13.6	1.0	10.9	42.2	1.3	289.6	685
漁業専攻	43.5	14.5	35.5	8.1	4.8	43.5	1.6	14.5	1.6	62.9	0.0	1.6	4.8	3.2	12.9	3.2	1.6	40.3	0.0	288.4	62
機関専攻	57.6	9.1	27.3	6.1	3.0	57.6	0.0	9.1	3.0	57.6	0.0	0.0	6.1	9.1	9.1	0.0	0.0	45.5	0.0	300.0	33
通信専攻	46.0	1.6	34.9	6.3	3.2	57.1	1.6	23.8	0.0	38.1	0.0	0.0	6.3	0.0	7.9	0.0	15.9	57.1	0.0	300.0	63
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	300.0	1
計	44.0	7.6	30.5	7.5	3.7	45.8	3.3	22.6	2.2	48.2	0.5	0.9	10.2	3.2	12.6	0.9	8.8	45.6	1.2	289.2	1,910
(船員選択・現在の数字)																					
漁船船員	70.1	10.4	44.2	2.6	9.1	37.7	0.0	11.7	6.5	55.8	1.3	2.6	0.0	5.2	2.6	1.3	0.0	39.0	0.0	300.0	77
漁船船員	59.3	14.4	33.1	4.2	6.8	44.1	0.0	8.5	2.5	55.1	1.7	0.0	2.5	5.1	5.1	0.0	3.4	54.2	0.0	300.0	118
商船船員	46.0	5.7	34.5	5.7	9.2	48.3	1.1	10.3	3.4	58.6	0.0	0.0	5.7	4.6	3.4	2.3	4.6	54.0	0.0	287.7	87
商船船員	52.9	5.8	32.7	3.8	2.9	39.4	0.0	15.4	3.8	61.5	0.0	0.0	8.7	8.7	9.6	1.0	5.8	48.1	0.0	300.0	104
漁船船員	50.6	9.9	33.9	6.7	4.4	44.4	2.0	16.1	2.0	54.1	0.6	1.2	7.6	3.2	9.1	0.6	8.8	42.1	0.9	288.2	342
漁船船員	44.5	6.4	33.5	8.3	2.8	47.2	3.7	23.9	2.3	47.2	0.0	0.9	9.2	1.4	12.4	1.4	9.2	44.0	1.4	289.5	218
水産専攻	53.7	6.5	36.1	5.6	6.5	43.5	0.9	21.3	0.9	53.7	0.0	0.9	3.7	5.6	8.3	0.0	4.6	48.1	0.0	300.0	108
水産専攻	34.9	6.2	25.0	9.5	2.0	48.0	5.4	30.7	1.7	40.9	0.5	1.0	14.8	2.0	17.3	0.9	12.0	45.7	1.0	289.4	809
水産専攻	23.4	10.6	34.0	6.4	2.1	44.7	4.3	19.1	0.0	42.6	0.0	0.0	14.9	4.3	25.5	2.1	6.4	38.3	19.1	287.9	47
1年	48.8	8.3	33.8	5.5	3.2	47.1	3.7	19.2	2.3	50.5	0.8	0.6	8.6	3.4	12.5	0.3	7.5	43.0	1.9	289.0	616
2年	40.6	6.2	25.1	7.6	3.7	44.5	4.0	23.5	2.3	47.4	0.5	1.1	12.4	2.9	13.3	1.4	10.7	44.2	0.3	288.8	647
3年	44.7	8.5	32.8	9.3	4.1	45.9	2.2	25.0	1.9	46.5	0.2	0.9	9.6	3.3	12.1	0.8	8.5	49.2	1.4	289.8	636
無回答	45.5	9.1	27.3	9.1	9.1	45.5	0.0	18.2	9.1	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	63.6	0.0	300.0	11
計	44.0	7.6	30.5	7.5	3.7	45.8	3.3	22.6	2.2	48.2	0.5	0.9	10.2	3.2	12.6	0.9	8.8	45.6	1.2	289.2	1,910
実数	840	146	583	143	71	875	63	431	42	920	9	17	194	61	240	17	169	871	23	5,715	

D 職業選択について

1 船員志望者の見解

現在、漁船船員になりたいと思っているかどうかについて聞いた者のうち、「ぜひ漁船船員になりたい」と答えた者と「漁船船員になってもよい」と答えた漁船船員志望者を対象に、船員を志望する理由、乗船したい漁船の種類、船員職業に対する定着志向、及び職業継続の条件について聞いた。

(1) 船員志向の理由

漁船船員にぜひなりたいた、なってもよいと思っている者が、現在就学している学科を選択した理由について複数回答を求めた(表5)。

水産高校では、漁船船員希望者の4割が「前から海・漁業の仕事に憧れていた」43.5%からなっており、次いで多いのが、「親の営む漁業経営を引き継ぐため(後継者)」38.7%となり、「一般的なサラリーマンと違い面

白そうだから」27.2%、「他になりたいと思う職業が見当たらないから」13.6%と続き、最後に、「漁船船員になるための勉強が面白くなってきた」と「その他」が同数の8.4%となっている。

大学校は、漁船船員になりたいと思っている者全員が「前から海・漁業の仕事に憧れているから」と答えており(100%)、次いで、「他になりたいと思う職業が見当たらないから」が半数の50.0%、そして、「一般的なサラリーマンと違い面白そうだから」と「漁船船員になるための勉強が面白くなってきた」からがともに25.0%で4分の1の者がそう考えていることになる。

以上のことから、水産高校より大学校の方が現在の学科を選択した理由としてより積極的なものがあるように思われる。

表5 現在の学科を希望した理由(複数回答)

	海がカレ	杆刈の	勉強杆刈	他ニイ	後継者	その他	無回答	計	実数
小樽	54.8	6.5	6.5	9.7	74.2	0.0	9.7	161.3	31
宮古	55.6	16.7	5.6	22.2	22.2	5.6	77.8	205.6	18
小名浜	40.7	18.5	7.4	25.9	18.5	11.1	92.6	214.8	27
三崎	30.4	43.5	13.0	8.7	32.6	13.0	47.8	189.1	46
焼津	42.1	26.3	10.5	5.3	26.3	10.5	36.8	157.9	19
三谷	31.6	36.8	0.0	10.5	68.4	10.5	15.8	173.7	19
富山	71.4	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	57.1	200.0	7
鹿児島	50.0	29.2	12.5	16.7	33.3	8.3	41.7	191.7	24
水高計	43.5	27.2	8.4	13.6	38.7	8.4	46.1	185.9	191
大学校	100.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	200.0	4
総計	44.6	27.2	8.7	14.4	37.9	8.2	45.1	186.2	195
(学科別)									
海洋漁業	45.8	25.0	6.7	14.2	43.3	5.8	31.7	172.5	120
水産工学	36.8	28.9	13.2	7.9	31.6	18.4	57.9	194.7	38
情報通信	46.7	33.3	0.0	13.3	26.7	6.7	160.0	286.7	15
漁業専攻	55.0	30.0	15.0	30.0	30.0	5.0	20.0	185.0	20
機関専攻									
通信専攻	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
無回答									
計	184	167	85	65	132	36	270	939	195
(船員選択・現在の気持ち)									
漁船がカレ	63.6	19.5	9.1	10.4	45.5	3.9	13.0	164.9	77
漁船がヨイ	32.2	32.2	8.5	16.9	32.2	11.0	15.3	148.3	118
計	44.6	27.2	8.7	14.4	37.4	8.2	14.4	154.9	195
実数	79	138	78	62	549	192	90	705	

(2) 希望する漁業種類

漁船船員になりたい者について、具体的に乗船したい漁業種類の漁船を聞いてみた(表6)。

水産高校では何といても「遠洋マグロはえ縄漁船」が32.5%と最も多く、次いで「その他の漁船」13.1%、「小型底びき網」9.4%、「大中型まき網漁船」5.8%、「サケ・マス流し網漁船」と「漁業練習船」がともに5.2%、「遠洋カツオ釣漁船」4.7%となり、「遠洋底びき網漁船」と「沖合底びき網漁船」が同数の3.7%、以下、「近海カツオ釣漁船」3.1%、「冷凍運搬船」2.1%、「イカ流し網漁船」と「調査船」が1.0%となっている。200海里時代以前であれば「遠洋底びき網漁船」が花形の漁業種類であったが、200海里により海外の漁場を閉め出され今日では見る陰もないものとなっている。希望値の高い「遠洋マグロはえ縄漁船」は、200海里等で遠洋漁業が凋落してきている中であっても安定的に推移している漁業であり、また、水産高校等の「練習船」での漁業実習がマグロはえ縄に多いことも希望値の高さとなって現れているものと思われる。「小型底びき網漁船」は、親の漁業経営を引き継ぐためのものと考えられる。

ぜひ漁船船員になりたいと思っている者では、35.1%の者が「遠洋マグロ漁船」を希望し、次いで「その他漁船」18.2%、「沖合底びき網」10.4%となり、なってもよいと思っている者は、「遠洋マグロ漁船」30.5%、「その他」10.2%、「小型底びき網」と「まき網」が同数の8.5%となっている。

(3) 漁船船員の定着志向

漁船船員をどれくらい続けたいかをたずね

たもので、「定年になるまで続けたい」と「船長や機関長になるまで続けたい」を選択した者は船員職業に対する継続意志、あるいは定着志向がある者としてとらえ(「定着志向あり」)、一方、「しばらくの間は続けたい」と「なってからでなければわからない(不明)」と答えた者は、職業継続意志や定着志向が希薄ないしは明確でない者としてとらえた(「定着志向なし」)。

水産高校では、漁船船員を「しばらくの間続けたい」23.5%と「不明」が19.8%であり「定着志向なし」は43.3%となり、「定年まで」24.9%と「船・機長まで」12.9%を加えた「定着志向あり」の37.8%を5.5ポイント上回り、「定着志向なし」が優勢となっている。

漁船船員職業の定着志向を、調査時点での「ぜひなりたい」と「なってもよい」との気持ちの違いでどういった違いとなって現れるかをみると、「ぜひ漁船船員になりたい」とする者は、「定年まで」40.0%と「船・機長まで」17.3%を合わせた「定着志向あり」は57.3%となり、「しばらくの間」25.3%と「不明」の16.0%の「定着志向なし」41.3%を上回ったものとなる。一方、「漁船船員になってもよい」では、「しばらくの間」27.6%と「不明」26.7%の「定着志向なし」が54.3%と半数以上を占め、「定着志向あり」の「定年まで」21.6%と「船・機長まで」13.8%を合わせても35.4%にしかならないものとなる。

漁船船員に「ぜひなりたい」という者と「なってもよい」とする船員志向にある者について聞いただけでも、全体的には「定着志

向なし」43.0%が「定着志向あり」38.0%を5.0ポイント上回ったものとなっている。

(4) 漁船船員の定着条件

次に、職業定着志向において、どの様な労働条件なり、社会環境といった職業の定着条件を整えると漁船船員職業を一生の仕事として考えることが出来るのかを聞いている。

水産高校では、「将来の家庭生活に支障がないなら一生の仕事にしてもよい」が21.8%と最も多く、次いで、「もっと収入が多ければ」が19.4%、「船長や機関長または通信長になれるなら(上級免許の取得)」17.1%と続き、以下、「もっと休暇がたくさん取れるなら」8.2%、「どのような条件が保障されても、一生続けたくない」6.5%、「その他」2.9%、「もっと世間の脚光を浴びるようなら」0.6%となる。大学校では、「将来の家庭生活に支障がないなら」66.7%と「船長や機関長または通信長になれるなら(上級免許の取得)」33.3%の2つだけである。

船員職業に対して志向性のある者にとっても、洋上生活で家族と離れた生活を過ごさなければならぬ船員生活の「離家庭性」は、今日では「収入の改善」以上に重要なモメントとなってきていることを表しているように思われる。

仕事継続の条件を現在との気持ちでみると、ぜひ漁船船員になりたいでは、「将来の家庭生活に支障がないなら」が27.5%と最も多く、次いで「上級免許の取得」25.5%、「もっと収入が多ければ」17.6%となり、漁船船員になってもよいは、「将来の家庭生活に支障がないなら」と「もっと収入が多ければ」が同数の26.1%であり、「上級免許の取得」は

18.5%となる。

4 商船船員志望者の乗船希望する船種

ここでは漁船以外の商船の船員となりたいと思っている者と、なってもよいと思っている商船船員志望者の、乗ってみたいと考えている船の種類を聞いたものである(表7)。

水産高校の商船船員志望者は、「外航船の船員」29.4%と最も多く、次いで、「フェリーの船員」19.0%、「マリンレジャー関係」13.3%、「内航船の船員」11.4%、「巡視船、自衛艦の乗組員」10.9%、「その他」2.8%となる。大学校では、「外航船の船員」と「フェリーの船員」が同数の36.4%で、この両方で7割以上を占め、以下「内航船」、「巡視船、自衛艦」、「その他」が9.1%と並んでいる。

「商船船員になりたい」と「なってもよい」に分けてみても、「外航船」(になりたい36.8%、なってもよい35.1%)の希望が高く、次いで「フェリー」(同25.3%、同23.4%)と続き、これらは同じ順位となっている。第3位になると、「になりたい」は「内航船」17.2%で、「なってもよい」は「巡視船」14.9%となる。

E 将来の職業生活について

1 就職に際しての重視条件

就職先を選択するとき、どのようなことを重視するかを聞いた(表7)。

水産高校も大学校においても、就職先を選ぶときに最優先するのは「仕事」としているが、水産高校では次いで会社の「将来性」を問題としており、大学校は「事業内容」に興味を持ったものとなっている。3位では、水

産高校は「給与」の高さが、大学校では会社の「将来性」を上げている。

現在、漁船や商船の船員になりたいと思っているかといった船員選択との関わりでみると、漁船船員にぜひなりたいたいと思っている者では、「仕事」が57.1%と高く、次いで「将来性」50.6%、「給与」44.2%となり、漁船船員にもなってよいと考えている者は、まず「将来性」57.6%で、次いで「給与」52.5%、「仕事」45.8%となる。商船船員になりたいと思う者は、漁船船員にぜひなりたいたい者と同じく「仕事」57.5%を上げ、次ぎに「将来性」54.0%、「給与」51.7%となっている。商船船員になってもよいでは、「将来性」58.7%、「仕事」52.9%、「給与」43.3%となる。

漁船や商船船員になりたい、なってもよいと思っている者と、それ以外の考えの者との

間には、明確な違いが出たものとはなっていないが、「休日が多く、残業が少ない」が全体で3割近い支持率となっており、今日の若者の気質を表したものと思われる。

2 船員生活への期待と不安

船員になるとしたら、どのような条件や事柄を重視するか、あるいはどのようなことが気がかりであるかについて、予め用意した14項目について、その重要度を4段階で回答するように求めた。回答の評価がどちらに傾いているか(△を計算)をみたものである。

(1) 船員になる場合に重視する条件や事柄 (表8, 9)

漁船や商船船員になる場合の重視条件として、「収入面で恵まれる」や「休暇が十分に取れる」といった労働条件面での要件や、

表7 就職先選択基準(複数回答)

	将来性	会社規模	給与	通勤	社風	経営安定	休日	有名性	仕事	事業内容	外地勤務	その他	無回答	計	実数
小樽	54.1	9.6	49.3	12.7	11.4	29.3	30.1	11.8	55.9	16.6	0.4	3.5	3.1	287.8	229
宮古	43.9	14.4	53.5	11.8	9.1	29.4	42.2	10.2	47.1	14.4	2.7	2.7	4.3	285.6	187
小名浜	53.6	17.4	44.1	17.8	11.2	27.3	18.8	12.2	53.0	18.4	2.0	4.3	3.0	282.9	304
三崎	45.7	11.3	37.9	33.8	13.2	24.1	30.5	10.0	56.6	16.7	2.3	4.8	6.1	292.9	311
焼津	53.0	19.1	44.7	20.0	13.0	17.2	28.8	9.3	51.6	21.9	1.9	5.6	1.9	287.9	215
三谷	42.9	14.9	45.2	29.7	9.2	19.8	32.3	14.2	55.8	20.5	1.0	4.6	1.3	291.4	303
富山	31.7	9.8	58.5	26.8	13.0	22.8	40.7	15.4	48.0	14.6	1.6	0.8	0.0	283.7	123
鹿児島	66.7	13.1	40.4	9.3	4.9	38.3	18.6	5.5	53.6	26.8	5.5	3.3	1.6	287.4	183
水高計	49.4	14.0	45.5	21.2	10.7	25.6	29.3	11.1	53.4	18.8	2.0	4.0	2.9	287.9	1,855
大学校	47.3	21.8	25.5	9.1	23.6	32.7	12.7	5.5	56.4	50.9	7.3	3.6	0.0	296.4	55
総計	49.3	14.2	44.9	20.8	11.1	25.8	28.8	10.9	53.5	19.7	2.2	4.0	2.8	288.2	1,910
(学科別)															
海洋漁業	46.3	14.1	45.1	18.4	12.3	25.4	28.3	12.5	53.5	18.6	1.8	3.9	3.6	283.9	559
水産工学	50.1	15.2	45.2	25.6	7.1	27.0	28.0	11.2	52.7	17.2	2.0	3.2	3.2	287.6	507
情報通信	51.2	13.0	43.4	20.1	11.4	25.7	31.2	10.4	53.7	22.3	2.3	5.0	2.6	292.4	685
漁業専攻	38.7	16.1	58.1	16.1	19.4	22.6	16.1	4.8	48.4	22.6	8.1	4.8	0.0	275.8	62
機関専攻	60.6	21.2	51.5	15.2	21.2	18.2	21.2	9.1	54.5	18.2	0.0	3.0	0.0	293.9	33
通信専攻	52.4	12.7	42.9	19.0	15.9	28.6	31.7	7.9	61.9	19.0	1.6	0.0	0.0	293.7	63
無回答	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	300.0	1
計	49.3	14.2	44.9	20.8	11.1	25.8	28.8	10.9	53.5	19.7	2.2	4.0	2.8	288.2	1,910
(船員選択・現在の気持ち)															
漁船志向	50.6	14.3	44.2	5.2	11.7	26.0	13.0	14.3	57.1	20.8	0.0	3.9	6.5	287.5	77
漁船志向	57.6	11.0	52.5	13.6	9.3	30.5	22.0	6.8	45.8	16.9	1.7	6.8	0.8	275.4	118
商船志向	54.0	17.2	51.7	10.3	12.6	31.0	23.0	6.9	57.5	16.1	8.0	3.4	0.0	292.0	87
商船志向	58.7	16.3	43.3	14.4	11.5	34.6	24.0	4.8	52.9	21.2	5.8	1.9	5.8	295.2	104
決行済	46.5	10.8	45.9	23.4	11.1	24.3	30.4	13.7	58.8	19.3	1.5	2.6	2.9	291.2	342
船員志向	52.8	17.9	39.4	25.7	10.1	28.0	27.5	8.7	53.7	22.0	1.4	4.1	0.0	291.3	218
水産就職	44.4	21.3	38.9	21.3	17.6	27.8	25.9	12.0	50.0	27.8	2.8	0.0	0.0	289.8	108
水産就職	48.0	14.0	45.6	22.5	10.4	23.1	32.4	11.4	52.5	19.3	2.0	4.9	2.2	288.3	809
無回答	36.2	6.4	38.3	27.7	12.8	27.7	34.0	17.0	44.7	10.6	0.0	4.3	29.8	289.4	47
計	49.3	14.2	44.9	20.8	11.1	25.8	28.8	10.9	53.5	19.7	2.2	4.0	2.8	288.2	1,910
実数	942	271	858	398	212	493	551	209	1,021	377	42	76	54	5,504	

「専門的な能力や技能が身につく」、「船長や機関長になれる」等の自己の開発・実現に対する要求もある。一方、「定年まで続ける」や「陸上勤務の機会がある」といった船員職業の継続に関する項目については、あまり関心が寄せられていないものとなっている。

(2) 船員になる場合の気

がかりな点(表10, 11)

船員になる場合の大いに気がかりとなるものは「家庭生活に恵まれるだろうか」、「仕事や技術をマスター(身につける)できるだろうか」、「雇用が安定した状態であるだろうか」であるが、家庭生活に次いで雇用の安定には関心があることを示している。また、「仕事や技術をマスター(身につける)できるだろうか」と技術修得に対しても気がかりな点があり、そうしたものに対して意欲的な姿勢を感じさせたものとなっている。

表8 入植時の重視条件(水産高校) 入植時の重視条件(大学校)

	非常に	かなり	少しは	あまり	合計	平均点	△%
定年まで	16.3	22.3	29.4	31.9	1,811	3.23	-22.69
世界の港	26.0	29.0	28.2	16.7	1,824	3.64	10.09
収入面	56.1	27.0	11.4	5.6	1,873	4.34	66.15
乗下船	27.4	28.4	28.9	15.4	1,823	3.68	11.57
陸上兼務	23.3	24.4	30.5	21.8	1,867	3.49	-4.55
専門技能	34.3	33.9	20.7	11.1	1,818	3.91	36.41
出会い	26.9	30.1	27.6	15.4	1,820	3.69	13.96
陸転能力	33.7	29.8	23.0	13.6	1,820	3.84	26.92
上司同僚	33.1	32.1	22.0	12.8	1,821	3.85	30.37
のんびり	29.4	28.9	25.7	16.1	1,816	3.71	16.41
能力開発	24.7	32.3	28.5	14.5	1,818	3.67	13.97
人に役立	16.6	25.1	32.0	26.4	1,824	3.32	-16.67
上級免許	42.7	29.1	16.9	11.3	1,820	4.03	43.63
休暇取得	50.9	24.7	16.1	8.3	1,786	4.18	51.18

	非常に	かなり	少しは	あまり	合計	平均点	△%
定年まで	24.5	15.1	18.9	41.5	53	3.23	-20.75
世界の港	33.3	29.6	24.1	13.0	54	3.83	25.93
収入面	72.2	18.5	5.6	3.7	54	4.59	81.48
乗下船	42.6	33.3	13.0	11.1	54	4.07	51.85
陸上兼務	31.5	27.8	25.9	14.8	54	3.76	18.52
専門技能	31.5	50.0	13.0	5.6	54	4.07	62.96
出会い	30.2	34.0	28.3	7.5	53	3.87	28.30
陸転能力	32.1	32.1	24.5	11.3	53	3.85	28.30
上司同僚	48.1	37.0	9.3	5.6	54	4.28	70.37
のんびり	22.2	27.8	31.5	18.5	54	3.54	0.00
能力開発	35.2	38.9	16.7	9.3	54	4.00	48.15
人に役立	7.4	24.1	46.3	22.2	54	3.17	-37.04
上級免許	29.6	38.9	13.0	18.5	54	3.80	37.04
休暇取得	57.4	25.9	13.0	3.7	54	4.37	66.67

表9 入植時の重視条件(船員志望) 入植時の重視条件(非船員志望)

	非常に	かなり	少しは	あまり	合計	平均点	△%
定年まで	21.1	26.9	27.2	24.8	379	3.44	-3.96
世界の港	28.0	30.3	25.3	16.4	379	3.70	16.62
収入面	60.2	25.9	11.3	2.6	379	4.44	72.03
乗下船	30.1	33.4	25.9	10.6	359	3.83	27.02
陸上兼務	24.0	25.8	46.2	4.0	275	3.70	-0.36
専門技能	44.3	34.8	16.1	4.7	379	4.19	58.31
出会い	30.2	34.7	27.1	8.0	377	3.87	29.97
陸転能力	27.9	29.8	26.3	16.0	376	3.70	15.43
上司同僚	37.4	36.6	19.4	6.6	377	4.05	48.01
のんびり	26.3	32.9	27.1	13.8	377	3.72	18.30
能力開発	32.5	41.9	20.8	4.8	375	4.02	48.80
人に役立	19.0	29.3	34.0	17.7	379	3.50	-3.43
上級免許	61.7	22.6	10.4	5.3	376	4.41	68.62
休暇取得	50.3	25.4	18.1	6.2	370	4.20	51.35

	非常に	かなり	少しは	あまり	合計	平均点	△%
定年まで	16.1	19.9	28.3	35.6	1,115	3.17	-27.89
世界の港	26.6	29.1	28.1	16.3	1,125	3.66	11.29
収入面	56.4	26.0	11.3	6.3	1,125	4.33	64.80
乗下船	29.3	27.0	27.3	16.4	1,125	3.69	12.71
陸上兼務	25.9	25.0	28.2	20.9	1,119	3.56	1.88
専門技能	31.0	33.0	22.6	13.5	1,121	3.81	27.92
出会い	26.1	27.6	28.1	18.2	1,123	3.62	7.39
陸転能力	35.8	29.0	21.7	13.4	1,127	3.87	29.72
上司同僚	32.5	29.6	22.7	15.2	1,123	3.79	24.13
のんびり	31.0	27.2	24.8	17.0	1,120	3.72	16.43
能力開発	22.6	29.4	30.0	18.0	1,124	3.57	4.09
人に役立つ	15.5	22.4	32.9	29.2	1,124	3.24	-24.20
上級免許	37.5	30.0	18.8	13.7	1,125	3.91	34.93
休暇取得	52.1	23.6	15.6	8.7	1,106	4.19	51.36

表10 船員生活の気になる点（水産高校）

	非常に	かなり	少しは	あまり	合計	平均点	△%
家庭満足	51.7	23.9	15.0	9.3	1,829	4.18	51.23
人間関係	32.0	29.7	26.0	12.2	1,829	3.82	23.46
上級免状	31.6	28.4	23.8	16.2	1,828	3.75	20.02
仕事技術	28.8	34.7	24.4	12.1	1,830	3.80	26.99
雇用安定	31.2	35.6	24.7	8.5	1,827	3.89	33.55
世間動向	27.9	29.8	27.8	14.5	1,825	3.71	15.40
結婚相手	50.7	19.6	16.8	12.9	1,828	4.08	40.59
陸上転職	37.4	31.1	19.4	12.0	1,827	3.94	37.06
船内生活	28.9	33.5	26.4	11.3	1,829	3.80	24.66
漁船仕事	34.9	32.1	22.4	10.6	1,829	3.91	34.06
やりがい	30.6	31.5	23.9	13.9	1,829	3.79	24.22
海難事故	43.5	21.8	22.0	12.7	1,829	3.96	30.56
昇進速度	23.3	29.1	32.2	15.4	1,827	3.60	4.76
技術革新	25.1	28.4	27.4	19.1	1,794	3.60	7.02

船員生活の気になる点（大学校）

	非常に	かなり	少しは	あまり	合計	平均点	△%
家庭満足	70.4	18.5	9.3	1.9	54	4.57	77.78
人間関係	35.2	31.5	22.2	11.1	54	3.91	33.33
上級免状	14.8	27.8	31.5	25.9	54	3.31	-14.81
仕事技術	16.7	38.9	31.5	13.0	54	3.59	11.11
雇用安定	50.0	35.2	13.0	1.9	54	4.33	70.37
世間動向	27.8	35.2	24.1	13.0	54	3.78	25.93
結婚相手	53.7	20.4	14.8	11.1	54	4.17	48.15
陸上転職	35.2	40.7	13.0	11.1	54	4.00	51.85
船内生活	27.8	38.9	18.5	14.8	54	3.80	33.33
漁船仕事	28.3	37.7	28.3	5.7	53	3.89	32.08
やりがい	37.0	35.2	20.4	7.4	54	4.02	44.44
海難事故	29.6	18.5	29.6	22.2	54	3.56	-3.70
昇進速度	9.3	22.2	44.4	24.1	54	3.17	-37.04
技術革新	9.4	30.2	24.5	35.8	53	3.13	-20.75

船員生活の気になる点（船員志望）

	非常に	かなり	少しは	あまり	合計	平均点	△%
家庭満足	45.3	27.2	17.5	9.9	382	4.08	45.03
人間関係	34.3	32.7	24.6	8.4	382	3.93	34.03
上級免状	42.7	26.7	20.9	9.7	382	4.02	38.74
仕事技術	31.0	39.3	23.2	6.5	384	3.95	40.63
雇用安定	28.5	44.9	20.4	6.3	383	3.96	46.74
世間動向	19.6	31.7	32.7	16.0	382	3.55	2.62
結婚相手	45.8	20.4	19.1	14.7	382	3.97	32.46
陸上転職	31.9	31.3	21.9	14.9	383	3.80	26.37
船内生活	25.1	34.7	28.2	12.0	383	3.73	19.58
漁船仕事	29.5	32.9	25.6	12.0	383	3.80	24.80
やりがい	26.6	30.0	28.5	14.9	383	3.68	13.32
海難事故	34.6	21.7	27.2	16.5	382	3.74	12.57
昇進速度	15.7	33.2	32.9	18.3	383	3.46	-2.35
技術革新	19.5	29.3	30.3	20.8	379	3.47	-2.37

船員生活の気になる点（非船員志望）

	非常に	かなり	少しは	あまり	合計	平均点	△%
家庭満足	56.1	21.3	14.1	8.5	1,124	4.25	54.80
人間関係	33.0	27.3	26.4	13.3	1,123	3.80	20.75
上級免状	28.9	27.1	25.5	18.5	1,123	3.66	12.02
仕事技術	27.8	33.1	25.9	13.3	1,124	3.75	21.71
雇用安定	28.0	35.1	27.2	9.8	1,023	3.81	26.10
世間動向	31.0	30.4	24.6	14.0	1,121	3.78	22.75
結婚相手	53.2	18.8	15.7	12.3	1,124	4.13	43.95
陸上転職	41.6	29.2	17.7	11.5	1,124	4.01	41.64
船内生活	31.1	32.4	25.0	11.5	1,125	3.83	27.11
漁船仕事	37.8	32.0	20.5	9.7	1,123	3.98	39.63
やりがい	33.4	30.3	22.1	14.2	1,124	3.83	27.40
海難事故	47.2	21.4	20.1	11.3	1,124	4.05	37.19
昇進速度	26.8	27.0	31.2	14.9	1,124	3.66	7.65
技術革新	26.8	26.9	26.2	20.1	1,099	3.60	7.37

F ま と め

1. 漁船船員を志向する比率は、水産大学校7.2%、水産高等学校10.3%で、水産大学校より水産高等学校の学生の漁船船員志向が高いものとなっている。一方、漁船以外の商船等の船員を志向する比率は、水産大学校20.0%、水産高等学校9.7%となり、進学するにつれて漁船船員離れとなったものとなっている。

2. 在学中、漁船船員については水産大学校、水産高等学校ともに船員への職業志向は低下する。しかし、商船船員に対する選択性は、大学校、高等学校とも上昇する。とはいえ、漁船、商船を合わせた船員志向は、大学

校では変化がみられないが、高等学校では商船船員への希望が若干なりとも強まる。

3. 漁船船員志向者の学校及び学科の選択基準は、親の営む漁業経営を引き継ぐため最も多く、次いで海・漁業の仕事に憧れていた、一般サラリーマンと違い面白そうだから、となる。

4. 漁船船員及び商船船員志向への阻害要因には、離家庭性、水産業の将来に対する不安を指摘している。

〔平成2年度「船員職業に関する調査」
（第1年度）、執筆担当 篠原陽一、
三輪千年の要約である。〕